

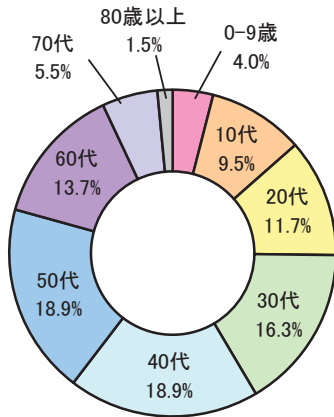
# 特別展「茶の湯」

## アンケート集計結果

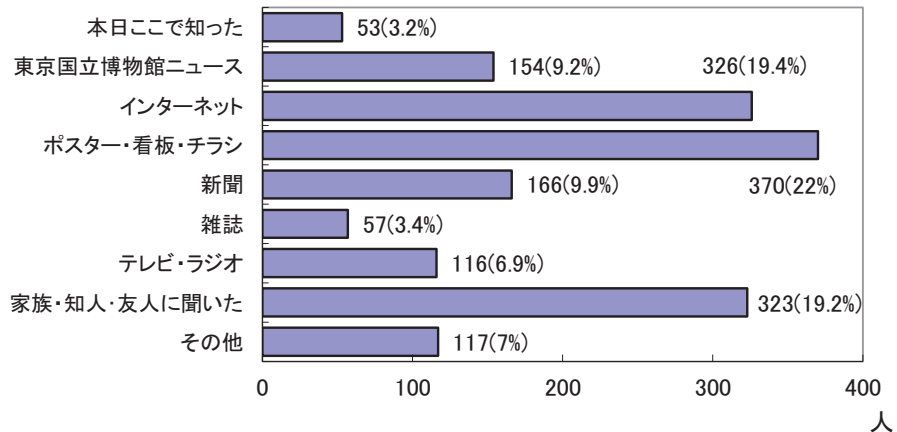
開催期間：平成29年4月11日（火）～6月4日（日）（49日間）

回答者数：1,185人（総入館者数：245,795人 アンケート回収率：0.48%）

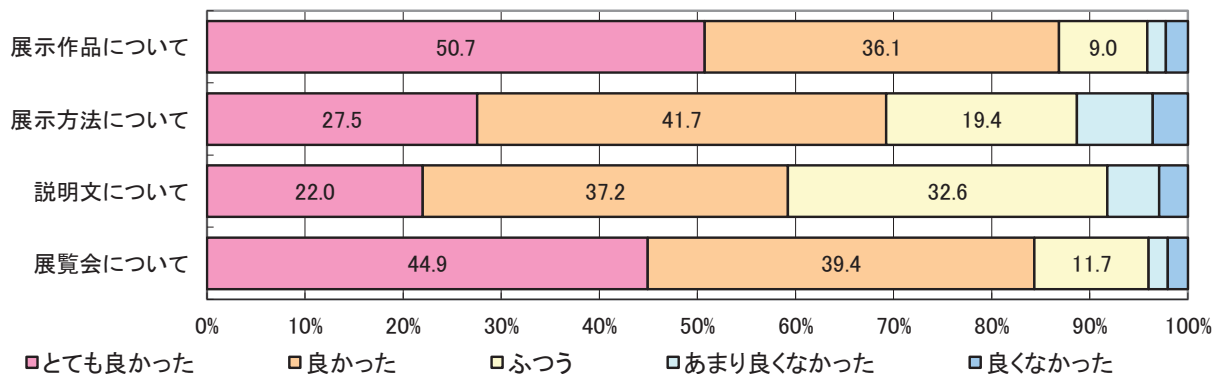
### ①アンケート回答年齢層



### ②認知経路（複数回答）



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・様々な茶道具を堪能した。歴史的な展覧会を見ることができた。
- ・国宝「曜変天目 稲葉天目」をはじめ、名碗が一堂に揃い見応えがあった。
- ・会期中に庭園の転合庵も観覧できたことがよかった。
- ・落語に出てくる作品が多くあり、音声ガイド役の春風亭昇太さんは適任だった。
- ・東京国立近代美術館とコラボ企画を利用し、シャトルバスで二展を鑑賞できた。

注：上記数字は以下の通り

|      | あまり良くなかった | 良くなかった |
|------|-----------|--------|
| 展示作品 | 1.9       | 2.2    |
| 展示方法 | 7.8       | 3.6    |
| 説明文  | 5.3       | 2.9    |
| 展覧会  | 2.0       | 2.0    |

(%)

日本文化の象徴であり、真髄というべき「茶の湯」。本展は、室町時代から近代まで、その発展の歴史をたどる特別展として行われ、名だたる武将や茶人が手にした名物や、時代を象徴する茶湯道具が一堂に会しました。最終章では、藤田香雪、益田鈍翁、平瀬露香、原三溪の四人の近代数寄者に焦点をあて、現代にも通じるその個性豊かな茶の世界をご堪能いただく機会となりました。「茶の湯」をテーマにこれほどの名品がお目見えするのは、1980年（昭和55）に当館にて開催された「茶の美術」展以来37年ぶりとなり、本展には約25万人の方々にご来館いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して84.3%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で、「茶器の底の花押や、裏、内側も見せてほしかった」、「混雑していて良く見られなかった」などのご意見も寄せられました。

今後も、来館者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。